

2 次関数の最大値・最小値 No.1

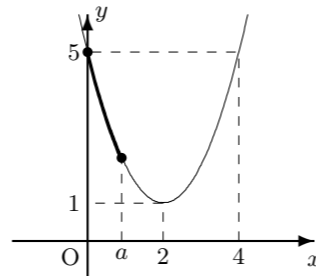
例 1 区間の範囲が変わる最大・最小

a を正の定数とするとき、関数 $f(x) = x^2 - 4x + 5$ ($0 \leq x \leq a$) の最大値と最小値、およびそのときの x の値を求めよ。

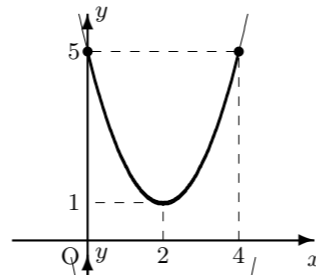
$f(x) = x^2 - 4x + 5 = (x - 2)^2 + 1$ より $y = f(x)$ のグラフは、軸 $x = 2$ 、頂点 $(2, 1)$ 、下に凸の放物線である。

【最大値】について (下に凸であるから、右端と左端の大小で場合分けする)

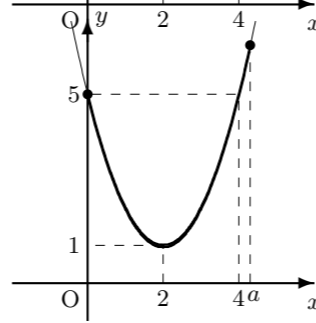
(☒) $0 < a < 4$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) > f(a)$ であるから、 $f(x)$ は
 $x = 0$ で最大値 5



(☒) $a = 4$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) = f(a)$ であるから、 $f(x)$ は
 $x = 0, 4$ で 最大値 5

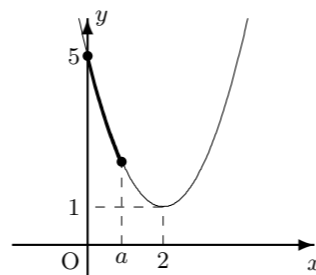


(☒) $a > 4$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) < f(a)$ であるから、 $f(x)$ は
 $x = a$ で最大値 $a^2 - 4a + 5$

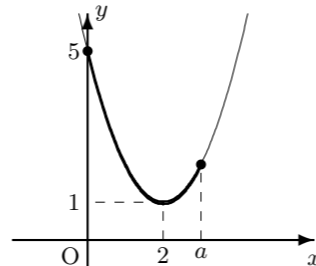


【最小値】について (区間の中に軸を含むか含まないかで場合分けする)

(☒) $0 < a < 2$ のとき、軸は区間の右側にあり、グラフは右図。
 $f(a) = a^2 - 4a + 5$ であるから、 $f(x)$ は
 $x = a$ で最小値 $a^2 - 4a + 5$



(☒) $a \geq 2$ のとき、軸は区間内にあり、グラフは右図。
 $f(x)$ は
 $x = 2$ で 最小値 1



例 2 文字係数の関数の最大・最小

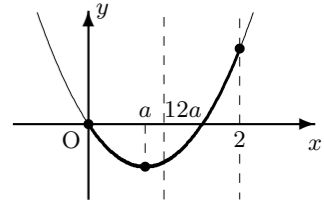
2 次関数 $f(x) = x^2 - 2ax$ ($0 \leq x \leq 2$) の最大値 $M(a)$ と最小値 $m(a)$ を求めよ。

$f(x) = x(x - 2a) = (x - a)^2 - a^2$ より $y = f(x)$ のグラフは、軸 $x = a$ 、頂点 $(a, -a^2)$ 、下に凸の放物線である。

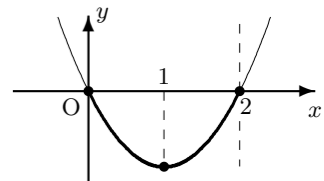
【最大値】について (下に凸であるから、右端と左端の大小で場合分けする)

区間 $0 \leq x \leq 2$ の中央の値 1 と、軸 $x = a$ の位置関係で場合分けする。

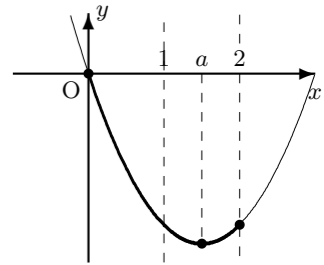
(☒) $a < 1$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) < f(2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = 2$ で最大となる。よって
 $M(a) = f(2) = 4 - 4a$



(☒) $a = 1$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) = f(2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = 0, 2$ で最大となる。よって
 $M(a) = f(0) = f(2) = 0$

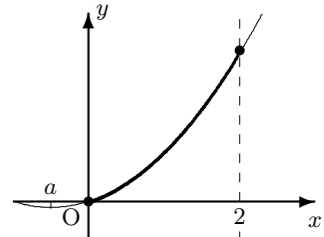


(☒) $a > 1$ のとき、グラフは右図。
 $f(0) > f(2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = 0$ で最大となる。よって
 $M(a) = f(0) = 0$

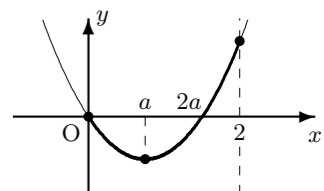


【最小値】について (区間の中に軸を含むか含まないかで場合分けする)

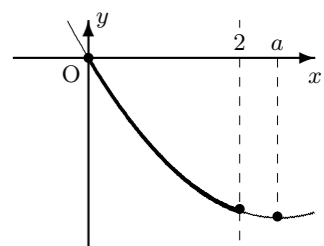
(☒) $a < 0$ のとき、軸は区間の左側にあり、グラフは右図。
 $f(x)$ は $x = 0$ で最小となる。よって
 $m(a) = f(0) = 0$



(☒) $0 \leq a < 2$ のとき、軸は区間内にあり、グラフは右図。
 $f(x)$ は $x = a$ で最小となる。よって
 $m(a) = f(a) = -a^2$



(☒) $a \geq 2$ のとき、軸は区間の右側にあり、グラフは右図。
 $f(x)$ は $x = 2$ で最小となる。よって
 $m(a) = f(2) = 4 - 4a$



2 次関数の最大値・最小値 No.2

例 3 グラフ固定・区間移動の最大・最小

区間 $t \leq x \leq t+2$ で定義される 2 次関数 $f(x) = x^2 - 4x + 5$ について

- (1) 最大値 $M(t)$ を求めよ。
 (2) 最小値 $m(t)$ を求めよ。

$f(x) = x^2 - 4x + 5 = (x-2)^2 + 1$ より $y = f(x)$ のグラフは、軸 $x = 2$ 、頂点 $(2, 1)$ 、下に凸の放物線である。

(1) 区間 $t \leq x \leq t+2$ の中央の値 $t+1$ と、軸 $x = 2$ の位置関係から

(☒) $t+1 < 2$ (☒) $t+1 = 2$ (☒) $t+1 > 2$ の 3 つの場合に分けて考える。

別 $f(t) = t^2 - 4t + 5$, $f(t+2) = (t+2)^2 - 4(t+2) + 5 = t^2 + 1$ であるから

$f(t) = f(t+2)$ とすると、 $t = 1$ であるから、

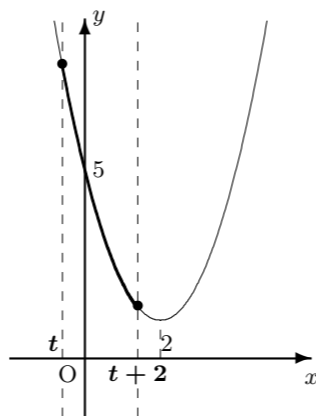
(☒) $t < 1$ (☒) $t = 1$ (☒) $t > 1$ の 3 つの場合に分けて考える。

(☒) $t+1 < 2$ すなわち $t < 1$ のとき、

軸は区間の中央より右側にあり、グラフは右図。

$f(t) > f(t+2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = t$ で最大となる。

よって $M(t) = f(t) = t^2 - 4t + 5$

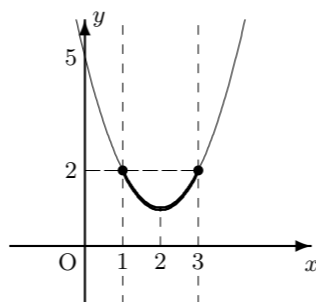


(☒) $t+1 = 2$ すなわち $t = 1$ のとき、

軸は区間の中央にあり、グラフは右図。

$f(1) = f(3)$ であるから、 $f(x)$ は $x = 1, 3$ で最大値となる。

よって $M(t) = f(1) = f(3) = 2$

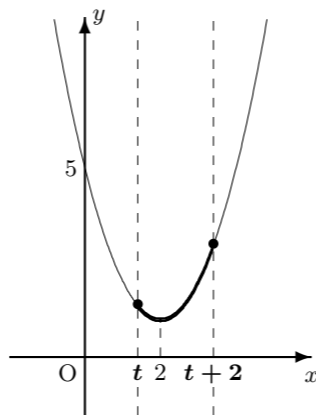


(☒) $t+1 > 2$ すなわち $t > 1$ のとき、

軸は区間の中央より左にあり、グラフは右図。

$f(t) < f(t+2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = t+2$ で最大となる。

よって $M(t) = f(t+2) = (t+2)^2 - 4(t+2) + 5 = t^2 + 1$



(2) 軸 $x = 2$ と区間 $t \leq x \leq t+2$ の位置関係から

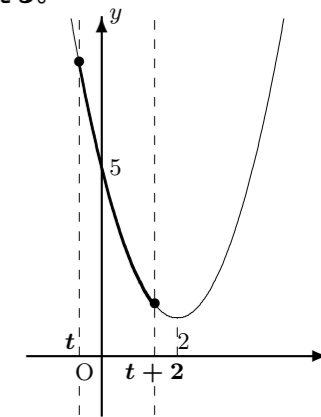
(☒) $t+2 < 2$ (☒) $t < 2 \leq t+2$ (☒) $t \geq 2$ の 3 つの場合に分けて考える。

(☒) $t+2 < 2$ すなわち $t < 0$ のとき、

軸は区間の右外側にあり、グラフは右図。

$f(t) > f(t+2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = t+2$ で最小となる。

よって $m(t) = f(t+2) = t^2 + 1$



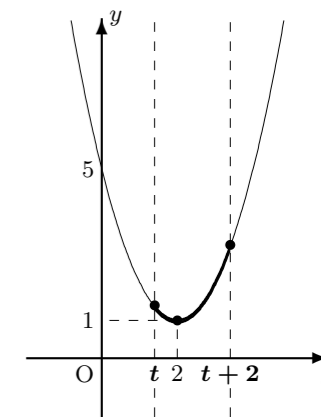
(☒) $t < 2 \leq t+2$ すなわち $0 \leq t < 2$ のとき、

軸は区間内にあり、グラフは右図。

よって $f(x)$ は

$x = 2$ で最小となる。

ゆえに $m(t) = f(2) = 1$

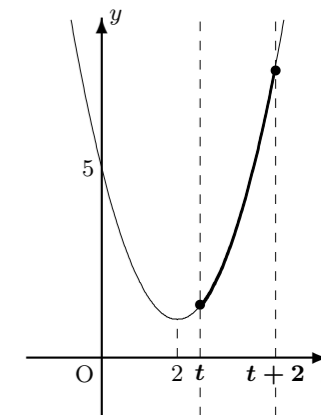


(☒) $t > 2$ のとき、

軸は区間の左外側にあり、グラフは右図。

$f(t) < f(t+2)$ であるから、 $f(x)$ は $x = t$ で最小となる。

よって $m(t) = f(t) = t^2 - 4t + 5$



2 次関数の最大値・最小値 No.3

例 4 置き換えを必要とする関数の最大・最小

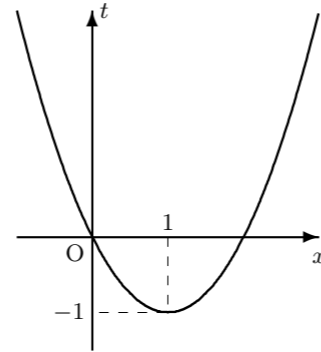
関数 $f(x) = (x^2 - 2x)^2 + 4(x^2 - 2x) - 1$ について

- (1) $t = x^2 - 2x$ とおくと、 t のとる値の範囲を求めよ。
- (2) 関数 $y = f(x)$ を t で表し、最小値とそのときの x の値を求めよ。

複雑な関数は、置き換えて 2 次関数に変形せよ。

- (1)

$$t = x^2 - 2x = (x - 1)^2 - 1$$
 よって、 $x = 1$ で、最小値 -1 をとる。
したがって $t \geq -1$



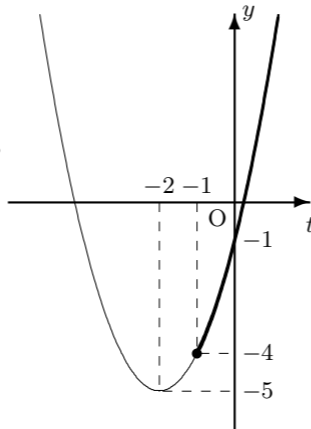
- (2)

$$y = (x^2 - 2x)^2 + 4(x^2 - 2x) - 1$$

$$= t^2 + 4t - 1$$

$$= (t + 2)^2 - 5$$

$t \geq -1$ の範囲で $y = (t + 2)^2 - 5$ のグラフをかくと、右図の太線部分。
よって、 $t = -1$ のとき 最小値 -4 をとる。



このとき、 $(x - 1)^2 - 1 = -1$
 $(x - 1)^2 = 0$
 $\therefore x = 1$

したがって、 $f(x)$ は $x = 1$ のとき 最小値 -4 をとる。

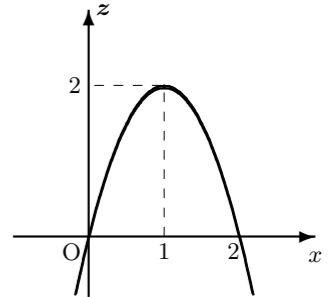
練習 区間 $-2 \leq x \leq 1$ における関数 $f(x) = (x^2 + 2x)^2 - 4(x^2 + 2x) - 1$ の最大値と最小値、およびそのときの x の値を求めよ。

例 5 条件付きの 2 変数関数の最大・最小

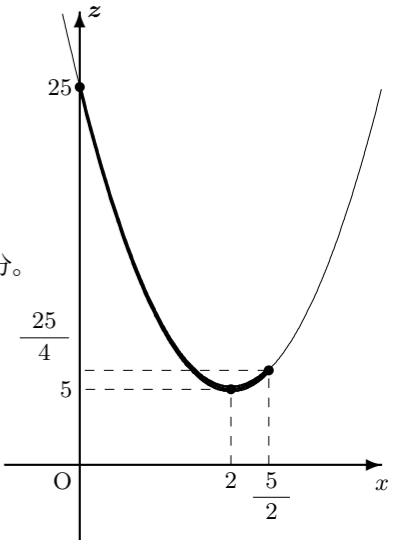
- (1) $2x + y = 4$ のとき、 xy の最大値を求めよ。
- (2) $x \geq 0, y \geq 0, 2x + y = 5$ のとき、 $x^2 + y^2$ の最大値と最小値を求めよ。

2 変数の関数の最大・最小は、条件式で 1 変数にして求めよ。

- (1) $2x + y = 4$ より $y = 4 - 2x \dots\dots ①$
 $z = xy$ において、① 代入すると
 $z = x(4 - 2x) = -2x^2 + 4x = -2(x - 1)^2 + 2$
 z は、 $x = 1$ のとき、最大値 2 をとる。
 $x = 1$ を ① に代入すると
 $y = 4 - 2 \cdot 1 = 2$
 よって、 xy は、 $x = 1, y = 2$ のとき、最大値 2



- (2) $2x + y = 5$ より $y = 5 - 2x \dots\dots ①$
 条件 $x \geq 0, y = 5 - 2x \geq 0$ より
 $0 \leq x \leq \frac{5}{2} \dots\dots ②$
 $z = x^2 + y^2$ において、① を代入すると
 $z = x^2 + (5 - 2x)^2 = 5x^2 - 20x + 25 = 5(x - 2)^2 + 5$
 ② の範囲で $y = 5(x - 2)^2 + 5$ のグラフをかくと、右図の太線部分。
 ② の範囲で最大値・最小値を求めると、
 z は、 $x = 0$ のとき、最大値 25 をとり、
 $x = 2$ のとき、最小値 5 をとる。
 ① より $x = 0$ のとき $y = 5, x = 2$ のとき $y = 1$
 よって、 $x^2 + y^2$ は $\begin{cases} x = 0, y = 5 \text{ のとき, 最大値 } 25 \\ x = 2, y = 1 \text{ のとき, 最小値 } 5 \end{cases}$



練習 $x \geq 0, y \geq 0, 2x + y = 1$ のとき、 $x^2 + 2y^2$ の最大値と最小値、そのときの x, y の値を求めよ。

2 次関数の最大値・最小値 No.4

例 6 最大・最小から 2 次関数決定

- (1) 2 次関数 $y = x^2 + bx + c$ は、 $x = -3$ のとき最小となり、 $x = 2$ のとき $y = 6$ である。このとき、定数 b, c の値を求めよ。
- (2) 2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフは点 $(4, -4)$ を通り、 $x = 2$ のとき最大値 8 をとる。このとき、定数 a, b, c の値を求めよ。

2 次関数を決定するとき、最大・最小が関係すれば標準形 $y = a(x - p)^2 + q$ で考えよ。

- (1) グラフは下に凸であるから、頂点で最小となる。

$x = -3$ のとき最小値をとるから

$$y = (x + 3)^2 + q \text{ とおける。}$$

$x = 2$ のとき $y = 6$ であるから

$$6 = (2 + 3)^2 + q$$

よって $q = -19$

したがって、求める 2 次関数は $y = (x + 3)^2 - 19$

すなわち $y = x^2 + 6x - 10$

$y = x^2 + bx + c$ と係数を比較して、 $b = 6, c = -10$

- (2) $x = 2$ のとき最大値 8 をとるから、グラフは上に凸なので

$$y = a(x - 2)^2 + 8 \quad (a < 0) \text{ とおける。}$$

点 $(4, -4)$ を通るから、

$$-4 = a(4 - 2)^2 + 8$$

よって $-4 = 4a + 8$ から $a = -3$

これは、 $a < 0$ を満たしているから適する。

したがって、求める 2 次関数は $y = -3(x - 2)^2 + 8$

すなわち $y = -3x^2 + 12x - 4$

$y = ax^2 + bx + c$ と係数を比較して、 $a = -3, b = 12, c = -4$

練習 2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフは点 $(1, 6)$ を通り、 $x = 3$ のとき最小値 -2 をとる。このとき、定数 a, b, c の値を求めよ。

例 7 最大・最小から係数の決定

定義域が $-1 \leq x \leq 2$ とする関数 $f(x) = ax^2 - 2ax + b$ の最大値が 5、最小値が 1 のとき、定数 a, b の値を求めよ。

最大・最小による係数の決定は、グラフの凹凸を考えよ。

$a = 0$ とすると、 $f(x) = b$ となる。これは、最大値 5、最小値 1 をとれないから適さない。

よって $a \neq 0$ である。このとき、 $f(x) = a(x - 1)^2 - a + b$

- (☒) $a > 0$ のとき

$y = f(x)$ のグラフは、頂点 $(1, -a + b)$ 、軸 $x = 1$ 、

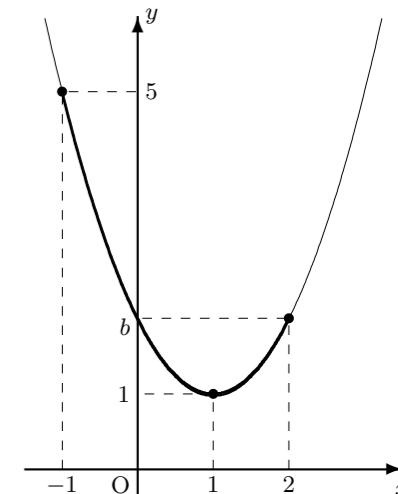
下の凸の放物線で、グラフは右図。

よって、 $f(x)$ は $x = -1$ で最大、 $x = 1$ で最小となる。

$$\text{ゆえに } \begin{cases} f(-1) = 3a + b = 5 & \dots\dots ① \\ f(1) = -a + b = 1 & \dots\dots ② \end{cases}$$

これを解いて $a = 1, b = 2$

この結果は、 $a > 0$ を満たしているから適する。



- (☒) $a < 0$ のとき

上に凸の放物線で、グラフは右図。

よって、 $f(x)$ は $x = 1$ で最大、 $x = -1$ で最小となる。

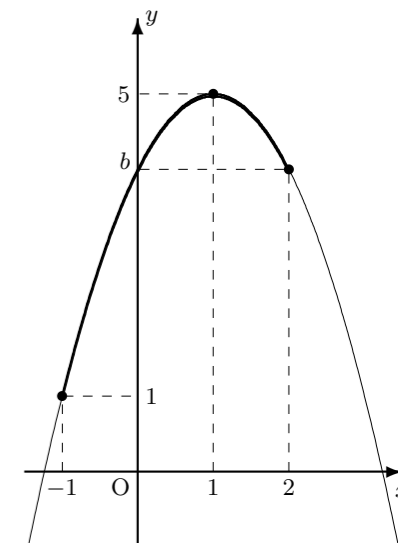
$$\text{ゆえに } \begin{cases} f(-1) = 3a + b = 5 & \dots\dots ③ \\ f(1) = -a + b = 1 & \dots\dots ④ \end{cases}$$

これを解いて $a = -1, b = 4$

この結果は、 $a < 0$ を満たしているから適する。

したがって、(☒), (☒) より

$$\begin{cases} a = 1 & \begin{cases} a = -1 \\ b = 4 \end{cases} \\ b = 2 \end{cases}$$



練習 定義域が $2 \leq x \leq 5$ とする関数 $f(x) = ax^2 - 8ax + b$ の最大値が 6、最小値が -2 のとき、定数 a, b の値を求めよ。